

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回座間市総合教育会議		
開催日時	令和4年7月22日（金） 14時00分～14時15分		
開催場所	市庁舎5-1会議室		
出席者	佐藤市長、木島教育長、小井田教育長職務代理者、馬場教育委員、鈴木教育委員、北村教育委員		
事務局	<p>【市長部局】企画財政部（大木企画財政部長）、企画政策課（原課長、園主任）</p> <p>【教育委員会】教育部（安藤教育部長）、教育総務課（高木課長、佐藤庶務経理係長）、学校教育課（野澤課長）、教育指導課（宮崎課長）、生涯学習課（吉野課長）、図書館（飯田館長）、教育研究所（石田所長）</p>		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	(1) 報告事項 ① 教育委員会及び市長の職務権限について		
資料の名称	次第のみ		
会議の結果			
報告事項	① 報告及び意見交換		
議事の詳細 → 別紙のとおり			

(市長)

本日は、大変お忙しいところ、本年度第2回の総合教育会議に御出席いただきありがとうございます。

7月に入り、新型コロナウイルス感染症の感染者数が大変増加傾向にあり、ここ数日でもかなり爆発的に増えているところです。熱中症対策をしながらの感染症対策ということで、現場の方で御苦労があるかと思いますが、市政に御協力いただき、ありがとうございます。

また、本市の小・中学校は昨日から夏休みに入りましたので、教育委員会や地域と連携しながら、子供達をしっかりと見守っていきたいと思います。

少し余談になりますが、昨日は、座間市で生まれ育った、井上尚弥、拓真兄弟のタウンミーツが行われ、市内の多くの子供達と保護者の方々が参加していました。このイベントは、市長の表敬訪問に合わせて、座間市の子供達に夢や希望を与えたい、とのお二人の強い御希望の下に叶えられたものです。本市の教育大綱の基本理念に、座間市で学び育つ「ざまっ子」が、ふるさと座間に愛と誇りをもち、心身ともに自立した大人に成長し、国や社会の発展に尽くすことができる「人づくり」を目指していきます、とありますが、それが具現化した大変素晴らしいイベントだったと思います。

本日は、私からの報告という形にはなりますが、有意義な会議にしたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

早速ですが、次第2 議題（1）報告事項「①教育委員会及び市長の職務権限について」に移ります。

先日開催しました「第1回座間市総合教育会議」において、第五次座間市総合計画（ざま未来プラン）の素案に挙げました「政策4 健康に暮らせるまちづくり」では、誰もが心身ともに健康な生活を送れるまちづくりに取り組むことを掲げており、ここに生涯学習や文化に関する部分を組み込んで、健康づくりなどの様々な分野と一体的に取り組むことで、柔軟に対応ができるのではないかと考えていることを皆様方にお伝えしました。

また、そのための組織体制として、教育委員会で担っていたものを市長部局で担うことも可能とされている中で、目指すまちの姿をどのように実現していくべきなのか、改めて考えさせていただき、総合計画策定の庁内体制でも議論をさせていただきました。

前回の会議では、教育委員の皆様方から、「市民のためには、今まで築き上げてきた体制の方が良いのではないか」と、教育目標、生涯学習の誇るべき実績、教育委員会制度の三つの意義と三つの特性、文化財の保護、PTA活動との関係性、職務権限の移管による実務への影響についてなど、多くの具体的な理由も含めて御意見を頂きました。

委員の皆様が感じている不安や懸念、これまで築き上げられてきた歴史と伝統に基づいた教育活動などを踏まえ、再考した結果、「現行の体制で、教育委員会と市長部局の連携をさらに強め、進めていくことが、よりスムーズに、実務への支障なく、目指すまちの姿を実現する方法ではないか」との考えに至りました。

また、伝統文化の継承については、どのように担い手を確保し、後継者を育成していくか、との課題は残りますが、これも、職務権限をお預かりしなくても、私の立場としてできること、やるべきことを探りながら、引き続き教育委員会と連携していきたいと考えていますので、課題についての共通認識をしっかりと深めさせていただき、これまで以上に柔軟な対応についてよろしくをお願いします。

私から皆様にお伝えしたいことは以上ですが、皆様から御意見がありましたら、お願いします。

(小井田委員)

教育委員を代表して申し上げます。

佐藤市長には、前回、出させていただいた私達の意見に御理解くださいましたこと、本当にありがとうございます。さらに、「現行の体制で」との御判断は、本当に有難い限りです。

いつもそうですが、大きく変わる社会を反映するように、教育改革も大きく進みます。その中で、教育委員会の中でも生涯学習課、図書館の施策や業務は、これまで以上にその重要性を増しています。それだけに、今までと同様の体制が維持できることで、安堵しています。

ところで、市長が打ち出されている、先程も説明ありましたが、「健康に暮らせるまちづくり」、これは本市にとって必要なプランであり、市を挙げて推進していくものと私達もよく理解しています。そこに描かれているまちの姿、市民の姿は、これまで教育委員会が懸命に取り組んできました「座間市ならではの教育」の先にある姿、つまり成果としての姿とも重なります。この姿を実現するためにも、市長部局と教育委員会の連携は欠かすことができないということ、先程の市長のお言葉どおりです。是非、よろしくをお願いします。市の未来を見据えた、このような話し合いの場をいただけたこと、改めて感謝申し上げます。今後とも、よろしくをお願いします。

(市長)

ありがとうございます。今、小井田委員から、お言葉がありましたが、冒頭、私も申し上げたとおり、今、本市がこれまで築き上げてきた文化や生涯学習は大変誇るべきものだと思っています。しかしやはり、後継者の育成は、どのようにこの精神や創り上げてきたものを引き継いでいくかというのが、本当に大きな課題だということは、皆さん共通の認識として持っていていてと思います。そういったところで、今後、より市長部局との連携を深めていただき、これまでの発想になかったような柔軟な対応をしていかなければ、これまで本市が進めてきたものを、サービスを受けている方達ばかりでなく、これまでなかなか関心がなかった方々や、本市の取組をより多くの市民の方々に知っていただき、その精神を次世代にしっかりと引き継いでいくというのが、私達に課せられている使命だと思っていますので、活発な意見交換をしながら、相互に理解し合いながら、今後の本市の在り方について深めていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

それでは、教育長からも何かありましたらよろしくをお願いします。

(教育長)

佐藤市長には、引き続き、生涯学習部門について、教育委員会の所管事務として留めていただく御判断をいただいたことに深く感謝申し上げます。教育委員の皆様共々、安堵しています。

また、この間、大木企画財政部長を始め、企画政策課の職員の方々には、大変な御苦勞をおかけしました。改めて御理解いただいたことに深く感謝申し上げます。

今後は、第五次座間市総合計画（ごま未来プラン）の目指すまちの姿の実現に向け、より一層教育部内における各課がしなやかで強靱な組織として力を発揮し、学校教育、社会教育の充実に努めます。また、市長部局とは、これまで以上に相互の連携、協力を図れるよう、様々な工夫をしていきますので、よろしくお願いいたします。

(市長)

ありがとうございます。

本日は、御出席くださりましてありがとうございました。今後とも、より良い教育、文化の発展のため、教育委員会と連携していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、進行を事務局に返します。

(事務局)

それでは、次第3 その他 に移ります。

議題以外のことも構いません。何かありますか。

～特になし～

本日は、御多用の中お集まりいただきありがとうございました。本日の会議録は、1か月程度を目途に、市ホームページで公開させていただく予定です。

次回の会議は、8月3日（水）10時から、場所は本日と同じ5-1会議室での開催を予定していますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和4年度第2回座間市総合教育会議を閉会します。皆様、お疲れ様でした。